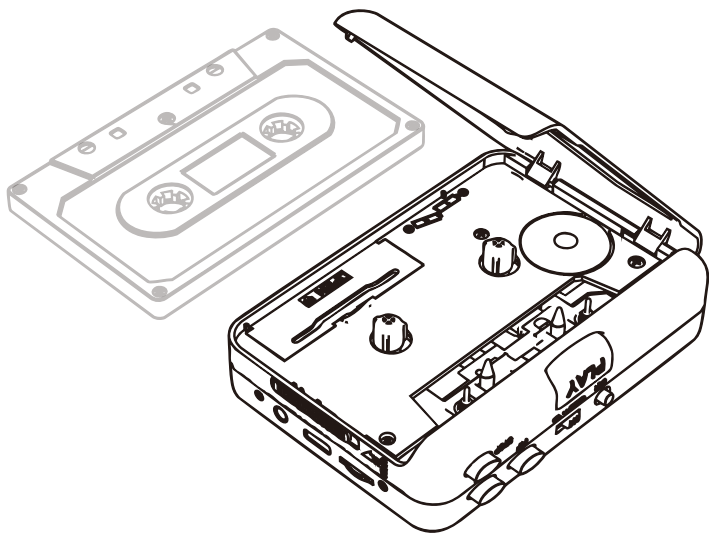


N E W
ニュー・カセッピ
CASEEPI



使用上の注意

お客様と他の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に使用頂くために下記の注意事項をお守りください。

パソコンの故障やトラブル、データの消失、損失、取扱い方を間違った使用により生じた本製品の故障は保証対象外となります。

- ・ 本製品の分解、改造は決して行わないでください。
- ・ パソコンに取り付ける前に必ず、パソコンメーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。
- ・ 濡れた手で本製品に触れないでください。故障の原因になります。
- ・ 本製品の取付や取外しによる故障、データ消失等が起きましても弊社ではその責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ カセットの取付、取出しは、必ず再生をストップにした状態で行ってください。また、ケーブルの着脱はコネクタを持って取り外しを行ってください。ケーブル部分をもって引っ張るとコネクタの故障、ケーブルの断線の原因となります。
- ・ 本製品を直射日光のあたる場所や車中に置かないでください。屋内での使用を前提としています。
- ・ 本製品を屋外、熱のこもりやすい場所で使用しないでください。
- ・ 大量の埃や油煙が発生する場所では使用しないでください。
- ・ 本製品は精密機器です。上に物を乗せたり、叩いたり、衝撃を与えないでください。
- ・ 本製品を本来の目的以外の用途に使用しないでください。
- ・ 乳幼児が触れたり、手の届く場所に保管しないでください。
- ・ 大音量での長時間の再生はおやめください。聴力障害への原因となります。
- ・ 特定の組み合わせでのみ起きる症状に関しては対応出来ない事がございます。
- ・ 本製品の仕様や外観の改良は予告なく変更する場合がございます。

パソコンとの接続	USB (USB2.0)
駆動電力	USB接続(USBバスパワー)
	単三形乾電池 (ポータブル使用時)
対応カセット	ノーマルポジション (80分未満)
対応ソフト	AudaCity (要ダウンロード)
取込ファイル形式	MP3 / WAV
対応OS	Windows 11 / 10
	MacOS 11～
音声出力端子	3.5mmイヤホン端子
付属品	イヤホン(試供品)、USBケーブル、
	取扱説明書兼保証書
本体サイズ	80 x 120 x 30 mm / 172g

※対応ソフトのAudacityはCドライブにインストールを行ってください。
ソフトウェアに容量約20Gと取込む音源用の空き容量が保存に必要となります。

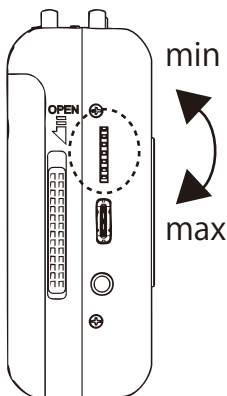
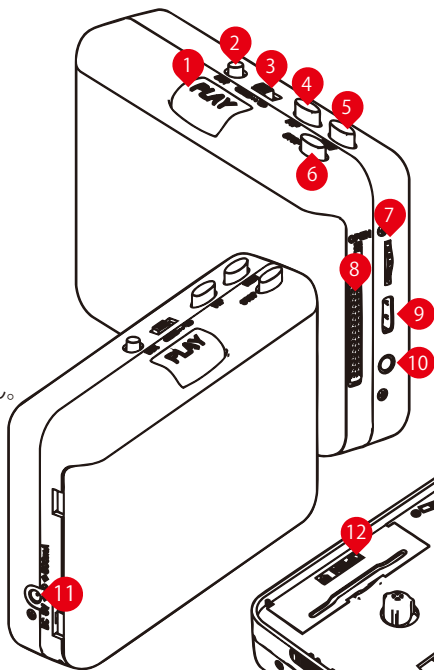
※本製品はノーマル・ハイポジション・メタルテープの再生を行えますが、テープ特性調整イコライザーや耐摩耗特性はございません。

ポータブルカセットプレイヤーとしてご利用の際は単三形乾電池を2本必要です。
アルカリ乾電池で約150分の連続駆動が可能です。

※本製品に単三乾電池は付属していませんので別途ご用意ください。
※本製品にカセットテープへ録音する機能はございません。

各部名称

- 1 / プレイボタン
- 2 / A-B 切替
- 3 / リピート / 通常
- 4 / 早送り
- 5 / 巻き戻し
- 6 / 停止
- 7 / ボリューム
- 8 / カバー開閉
- 9 / USB TypeC
- 10 / イヤホンジャック
- 11 / 本製品では使用しません。
- 12 / 電池ボックス

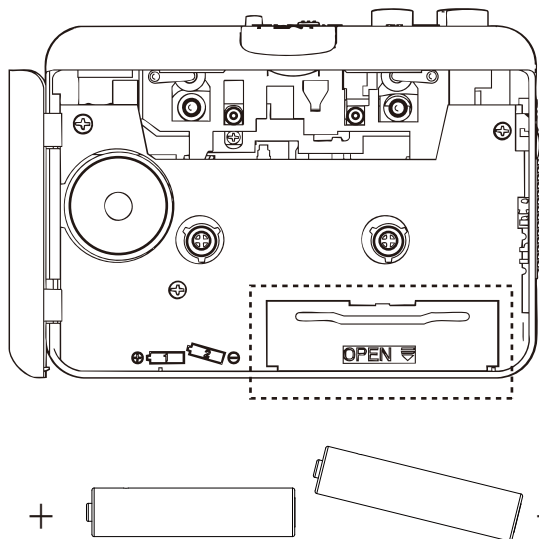


ボリューム調整

ボリューム調整は左の図のように上に回すと小さくなります。
下に回すと大きくなります。

乾電池の入れ方

本製品をポータブルプレイヤーとしてご利用頂く場合には単三形乾電池を入れて頂く必要があります。



本体横にありますカバー開閉をスライドして頂き、カセットカバーを開いて頂いた右下に電池ボックスがございます。

電池ボックスの蓋を外します。

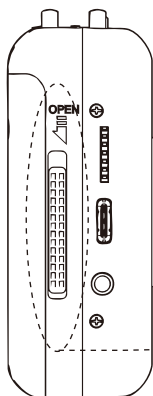
単三形乾電池を2本をご用意頂き、入れてください。

※＋－をご確認頂き、間違えないようにしてください。

1本目を入れて頂いて左側にスライドしてください、2本目はマイナス側から入れてください。

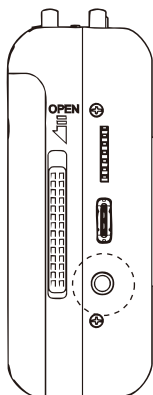
電池ボックスの蓋を閉めて完了です。

カセットカバーの開閉



カバー開閉を下にスライドして頂く事により
カセットカバーが開きます。
カバーはバネ式になっています。
※カセットを取り出す場合は STOP を押して、
カセットテープが完全に止まって
からカバー開閉をスライドしてください。

イヤホンの接続

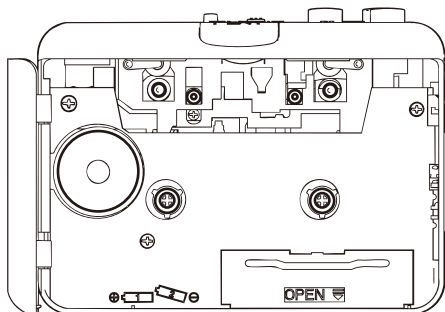


付属イヤホンのプラグを本体のイヤホンジャックにさしこんでください。

この時、停止した状態で行ってください。
また、ボリュームは小さい状態から徐々に上げるようにご利用ください。

※プラグはしっかりと奥までさしてください。
※大音量での長時間の再生はおやめください。
聴力障害への原因となります。

カセットテープの再生



カセットカバーを開きます、リールが回転していないことを確認してください。

※リールが回転している場合は必ず停止ボタンで停止してから作業を行ってください。

セットするカセットもテープにたるみが出ていないことを確認してください。

カセットを正面からまっすぐにいれます。

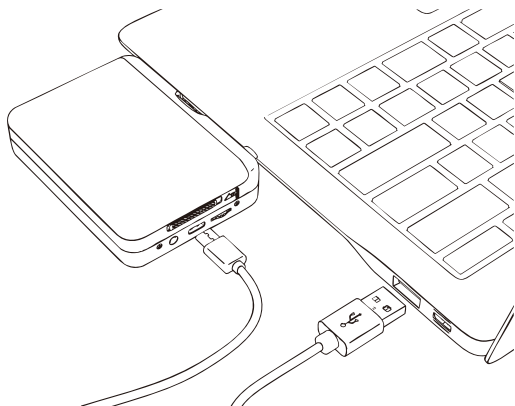


「PLAY」ボタンを押しこんでください。

押し込んだ状態でボタンが止まると再生が始まりリールが回転します。

※押し込みが足りない場合は「PLAY」ボタンはもとの位置に戻ります。

パソコンとの接続



本製品に付属のUSBケーブルを用いてパソコンと接続してください。

※ソフトウェアは事前にダウンロードして頂き、インストールをお願い致します。

取扱上での注意

※カセットを取り出す場合は STOP を押して、カセットテープが完全に止まってからカバー開閉をスライドしてください。

止まっていない状態で開きますとテープの巻き付きや破損の原因となります。

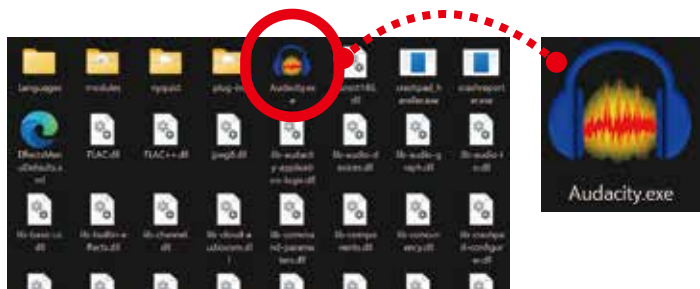
ソフトダウンロード

ダウンロード：弊社ウェブサイトからソフトウェアをダウンロードしていただき、フォルダを解凍してください。URL：

<https://www.area-powers.jp/product/others/4580722551517/>

解凍方法：ファイルをマウスの右クリックで1回クリックし、「すべて展開」を選択します。ファイルが解凍されて、フォルダが作られます。

ソフトウェアの起動：フォルダを開くと以下のような構成になっており、Audacity.exe をダブルクリックしてソフトウェアの起動してください。



AudaCity はフリーソフトになります。

本製品をご利用頂くうえで必要な機能を説明書に記載しています。

その他のご利用方法はお客様にてご確認ください。

当社のサポートではマニュアル内容に関してのサポートを行っています。
その他の機能に関してはサポート外となりますので予めご了承ください。

Audacityのインターフェイス

1 メニューバー

ほとんどの操作はこのメニューの中から選びます。

2 タイムライン

現在の曲の時間を表示します。

3 トラックコントロールパネル

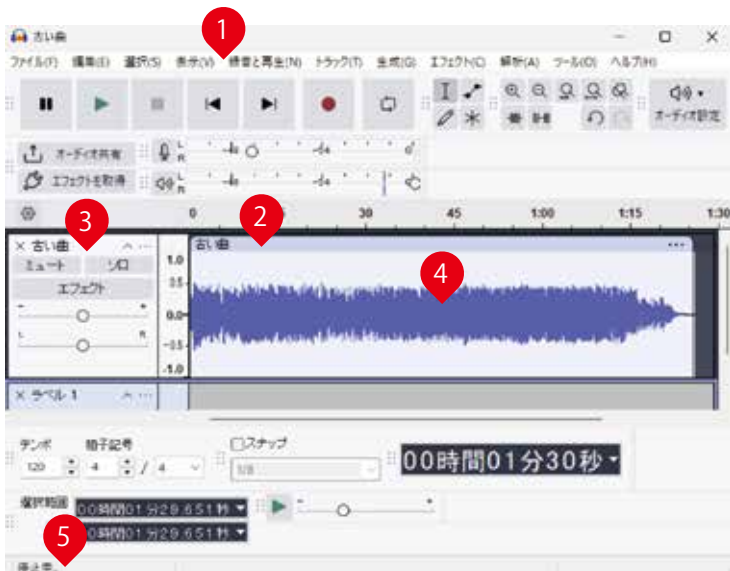
現在タイムライン上にある曲を操作するパネルです。

4 オーディオトラック

現在タイムライン上に存在する曲のトラックです。

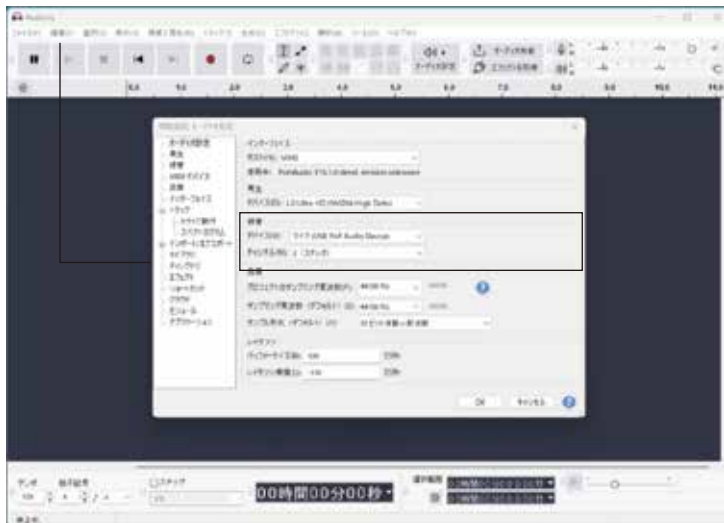
5 ステータスバー

現在のステータスを表示しております。



※ソフトウェアのアップデートにより画面が変わる場合がございます。

デバイスの認識確認



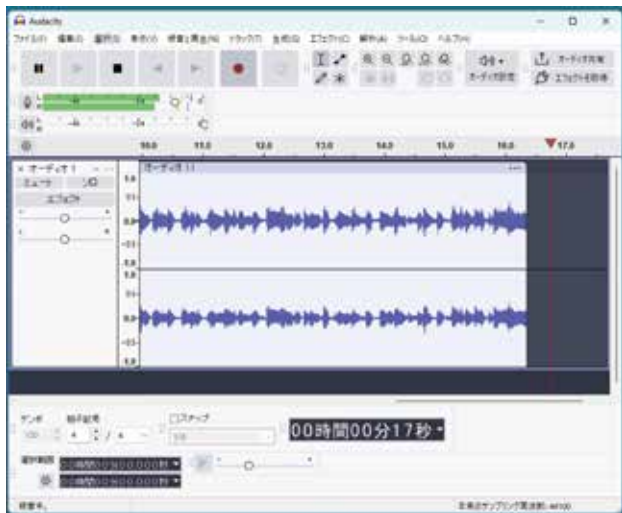
メニューバーの編集をクリックすると表示されるプルダウンメニューより、環境設定を選択してください。

上記画面が表示されます。



※Audacityは汎用ソフトですので他に接続されている機器で認識されている場合がございます。

Audacityへ録音する



メニューバーにある録音ボタン  をクリックしてください。

タイムラインに波形が表示されます。

録音している音の波形になります。

※波形が出ない場合はカセットの再生がスタートしているかご確認ください。

ここでのデータはAudacityで展開する為のプロジェクト データになります。

MP3データへするには次のページをご参照ください。

録音データをオーディオデータにして保存



- ①メニューバーの [ファイル] をクリック
- ②プルダウンメニューから [オーディオをエクスポート] をクリックすると新しいウィンドが開きます。

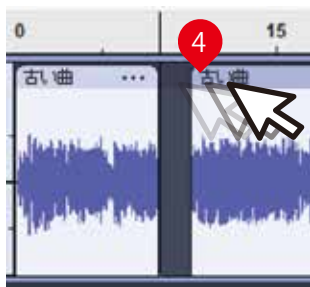
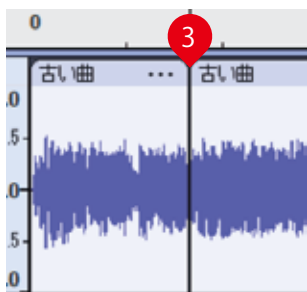


- ③保存する名前を入力する
- ④保存する場所を選ぶ
- ⑤保存するファイル形式を MP3 に変更
- ⑥音声ステレオの場合はステレオを選択
- ⑦エクスポートを選択して曲を保存する。

※エクスポートに必要な時間はパソコンの処理能力により異なります。

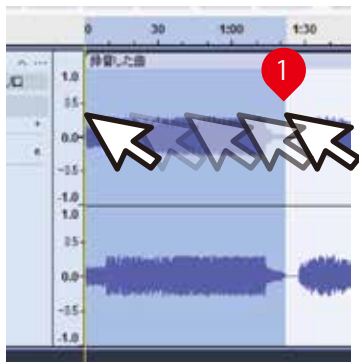
※エクスポートしたファイルからプロジェクトへは戻せません。

■ 録音した音声ファイルを分割する



ラベルを付ける

ラベル機能を使ってトラックに目印を付けておくことで、一つのトラックを複数ファイルに分割して出力できます。無音部分の除外や後でエフェクトを付けるために予め範囲を指定しておくことができます。

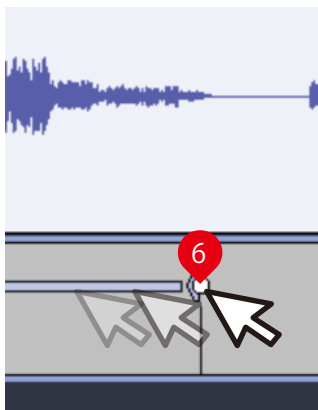


①ラベルを付ける範囲をマウスで範囲選択する。

②編集→③ラベル→④選択範囲にラベルを付けを選択。

又は Ctrl+B を押す。





⑤ラベルの名前を入力

⑥ラベルラインの丸をマウスでつかみ、移動することで、ラベルをつける場所を微調整が可能です。

ラベル付したクリップを分割出力



①それぞれの曲にラベルを付けられている状態であることを確認してください。

②[ファイル]→③[オーディオエクスポート]をクリックします。





- ④[複数ファイル] を選択
- ⑤必要に応じて命名を変更
- ⑥[エクスポート] をクリックするとそれぞれの曲が出力されるようになります。

ノイズの低減



ステップ 1

- ①トラックのノイズ音だけの箇所をマウスで範囲選択します。
- ② [エフェクト]→③[ノイズ除去と修復]→④[ノイズを低減]を選択。
- ⑤ノイズプロファイルを取得をクリック。





ステップ2

⑥クリップ全体を選択します。

⑦メニューからノイズを低減を再度選択します。

⑧必要に応じてパラメータ数を調整し、⑨OK を選択。

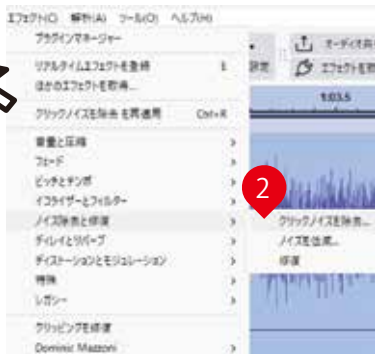
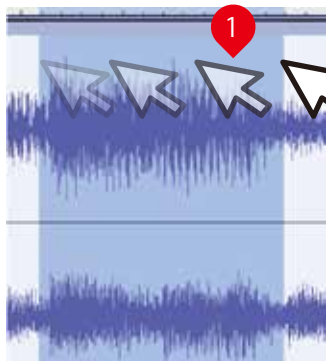
※ノイズ低減が強いと音質に影響します。

⑩ノイズが低減されました。

※除去を再度試みる場合はステップ1の①のサンプル取得範囲の変更をお試しください。



クリックノイズの除去と修復



- ①修復したい範囲をマウスをドラッグして選択します。
- ②エフェクト→ノイズ除去と修復→ノイズを低減を選択。
- ③クリックノイズに応じてパラメータ数を調整します。
- ④OKを押すと、クリックノイズが修復されます。

※音楽の種類や音声の感度などによっては修復できない場合があります。

音量の大きさを揃える



- ①音量をそろえたいクリップを選択します。
 - ②エフェクト→音量と圧縮→ラウドネスノーマライザーを選択する。
 - ③適用をクリックして実行。
 - ④それぞれのクリップを行うことで、音量がそろえるようになります。
- ※ノーマライズは 波形のピークで音量を揃えるもので、ラウドネスノーマライズは「人が感じる音量感（LUFS）」を基準に揃えるものになります。

音声のイコライザー調整



- ①イコライザーを変更したいクリップを選択します
- ②エフェクト→イコライザーとフィルター→グラフィック EQ を選択する
- ③ユーザー設定→④登録されているファクトリープリセットを選択する
- ⑤あるいは手動で好きな音域を調整する
- ⑥プレビューで確認することができます。
- ⑦適用で、音声ファイルに適用させることが可能です。